はまなし

鶴岡市立西郷小学校　学校だより
令和5年度 第5号（2023．7．21発行）
～家庭・地域とともにある西郷小学校～

西郷っ子 R5 1学期のがんばり

マスクいらずの夏が戻りつつあります。先日は３年ぶりに開いた「一斉教育懇談会」に、各区長・公民館長・保護者の皆様よりご参加いただき、誠にありがとうございました。西郷小にお世話になって３年目となりますが、最も充実した１学期だったように思います。今年度、達成をめざす「育てたい資質・能力」の観点に沿って、子どもたちのがんばりをふりかえってみたいと思います。

挑戦する子

■子どもたちには「挑戦する子」と紹介していますが、「育てたい資質・能力」では「確かな学びの力を身につけ、めあてに向かって挑み高める子」の育成を目指す項目です。「お子さん一人一人の自尊感情を高めることで、心の居場所をつくり、意欲を引き出していこう」という基本構想は、今年度も変えていません。この１学期から「かんガエル＝楽 C!（読み：考えるって楽しい）」という実践を始めました。思考力を高める問題をこれまで5回出題し、のべ１５５人のお子さんがクリアしています。進んで挑戦する子、考える行為を楽しめる子が少しずつ増えている手応えを感じています。

考え・実行する子

■子どもたちには「考え・実行する子」と紹介しています。「育てたい資質・能力」では「思いやりの心で認め合い、支え合って、深い学びを切り拓く子」を目指す項目で、今学期、子どもたちが大きく力を伸ばした観点でもあります。全校をリードしたのは6年生です。１９人の6年生は、入学直後でまだ学校生活に慣れない１年生を進んで支え、登校班やはまなし班・委員会・クラブ活動を力強く牽引してくれています。その姿は「学校の顔」にふさわしく、頼もしい限りです。そんな6年生に導かれるように、この１学期は心の交流が盛んでした。今年度、重点として「異学年交流」を大切にしていますが、多くの学年で「思いやり・やさしさ・感謝・憧れ」といった望ましい心のふれあいが見られました。心やさしく素直な西郷の子どもたちのよさは、友達や仲間と一緒に過ごす中で発揮されますが、同時に心の交流によって刺激を受け、ますます豊かに磨き上げられていくのだな…と改めて実感したところです。西郷の子どもたちは、人との関わりを通じて、みな豊かに学んでいます。

西郷を大切にする子

■「西郷を大切にする子」について、「育てたい資質・能力」では「進んで学び、西郷に誇りと愛着をもち、その未来をよりよくしようとする子」としています。「西郷を大切にする子」を育てる上で大切にしているのが「想い・願い」と「価値付け」です。本校には「西郷」を題材とする体験活動や学びがたくさんあります。今年度も、地域や家庭の皆様と心を通わせることで、西郷に寄せる「想いや願い」まで教わっていきたいと考えています。皆様方との交流が、子どもたちにとって何よりの「学びの場」となります。ご理解・ご協力を、よろしくお願いいたします。「価値付け」についても、西郷を誇らしく感じ、目を輝かせる場面を、たくさん創りたいと考えています。ここ西郷には誇るべき事柄や人材がいっぱいにあふれています。５・６年生の稲作、４年生の学習林・クロマツ、３年生のネギ・砂地に育つ農作物、２年生の大豆、１年生の大根と、それらの活動を子どもたちにやさしく教えてくださる地域や家庭の皆様に深く感謝するとともに、連携・協力を通して「将来の西郷の担い手」である、大切な子どもたちを育ててまいります。（地域講師として、ネギ栽培は伊藤様から、大豆栽培は阿部様から例年ご指導いただいております。大根は今年度、佐藤様からご指導いただくようにお願いしております。たいへんありがとうございます。）